

## 「第3回ナイトレート・ピクチャー・ショー」報告

# ナイトレート・フィルムを上映するというフィルムアーカイブの禁じ手、あるいは、世界でもっとも特殊で高度に文化的な映画上映の試み

## 岡島尚志

Hisashi Okajima

5月5日から7日にかけての三日間、米東海岸を代表する老舗の映画保存機関ジョージ・イーストマン・ミュージアム(GEM)で、第3回ナイトレート・ピクチャー・ショー(NPS)という小さな映画祭が開催された。フィルムセンターは出品要請と講演依頼を受け、筆者がこれに参加した。以下はその報告である。

直前に第73回FIAF会議が行われたロサンゼルスの中身の気温は30℃近く、GEMのあるニューヨーク州ロチェスターのそれは10℃以下で、両者続けての参加はまさに夏から冬へ逆戻りといった感さもあるが、後者の“安定した”低温環境こそは、今日ではほぼ上映する事がない、あるいは実質上映を禁止されているナイトレート・フィルム——この場合はニトロセルロース(硝酸繊維素)製支持体から成る可燃性の35mmオリジナルフィルムプリント——を、上映するために欠かせない要素の一つでもある。

今回3回目となるNPSの全10番組で初日夜のオープニング・ガラを飾ったのは、日本からの初参加ともなった『麦秋』(1951年、124分)であった。映写は最後まで安全に行われ、観客のすべてが「水彩画のように美しいプリント」(フィンランド国立視聴覚協会アンティ・アラネンの

言葉)に出会い、戦後6年目の占領下に作られた小津芸術の偉大さに圧倒されていた。他に——上映順で長篇のみ記せば——ケーリー・グラント主演の喜劇『独身者と女学生』(アーヴィング・ライス監督、1947年)、ジーン・ケリーがジェリー・マウスと“共演”することでも知られる『錨を上げて』(ジョージ・シドニー監督、1945年)、クロード・レインズ、ネルソン・エディらが出演するミュージカル仕立ての『オペラの怪人』(アーサー・ルービン監督、1943年)、エイゼンシュテインの『アレクサンドル・ネフスキー』(1938年)、ジュールス・ダッシン監督、リチャード・ワイドマーク主演の『街の野獣』(1950年)、ヒッチコックの『白い恐怖』(1945年)などが連続上映された(上映番組の詳細はURL参照<https://eastman.org/nitrate-picture-show>)。

主催者GEMの映像部長パオロ・ケルキ・ウザイ、映画祭責任者のジャレッド・ケースは共に、このイベントが、上映と関連教育プログラムを併せて、一年がかりの準備を要するものであることを強調していたが、実際に彼らの仕事ぶりは驚くべきものであった。これは、いかなる意味でも通常の上映会などでは決してなく、各国アーカイブが宝物のように守って

なのである。それでも、フィルムの走行ノイズに違和感が生じただけで、(今回の場合は、全番組で上映が滞りなく行われたとはいえ)勇気を持って映写中止の判断がなされることもあるとされており、観客はそうした事態の可能性を理解し納得した上で、3日間の全上映および講演会等に参加できるチケットを前もって購入することになる。上映番組は、映画祭初日朝の記者会見時に初めて発表され、また、発表された映画が主催者の判断で上映中止になっても払い戻しは行われない。

現存する最良のナイトレート・プリントが、必ずしも原産国のアーカイブから提供されるとは限らないのも、NPSの特長の一つである。例えば、オーストリアからやってきた『アレクサンドル・ネフスキー』は、60年代にウィーンのソビエト大使館から当地の映画博物館に寄贈されて後、数えるほどしか上映されてこなかったビンテージ・プリントであるし、典型的なハリウッドミュージカル『錨を上げて』は、英国のBFIナショナル・アーカイブから運ばれたものである。

そうした中でとりわけ感動的だったのは『白い恐怖』であろうか。これは2000年のFIAFロンドン会議で「最後のナイトレート・ピクチャー・ショー」と銘打って上映されたプリント群の一つであり、筆者としては、今回、映画後半の舞台にもなったロチェスターという特権的な場所で、17年ぶりに再見してその美しさにほぼ変化がないことを確認することになった。プリントはアメリカ国内・議会図書館からの出品で、上映前に挨拶したカルペパー・キャンパスのナイトレート・フィルム保存庫長ジョージ・ウィルマンは「今日の上映が実現できたのは、16mmに縮写して残せばよいという当時の議会図書館の決定に従わず、この35mmプリントを隠して保管した映画放送録音物部の担当者ポール・スピアさんのおかげです」と発言して観客を感動させた。

なお、記念講演会は、筆者の演題My Life With Nitrateとオーストリア映画博物館長アレックス・ホルヴァートの演題My Life Without Nitrateが、一対をなす形で行われた。

(フィルムセンター参事)

註

1 ボルデノーネ無声映画祭の創設者の一人で、セルズニック映画保存スクール(GEM)の講座を開講したことも知られる。著書に『Burning Passions: An Introduction to the Study of Silent Cinema』(BFI, 1994)などがある。

### You Can Support the George Eastman Museum and the Dryden Theatre

The George Eastman Museum is one of the few archival institutions worldwide that is able to screen motion pictures in the full range of mediums and formats—from the earliest silent nitrate film stocks to current digital technologies—allowing audiences to see a filmmaker's creative vision in its authentic form, on screen in the Dryden Theatre. Through your gift of support, you can help the Eastman Museum connect audiences with the art of the moving image, the artists who create films, and the history of the medium—for generations to come.

#### Sponsor a Seat in the Dryden Theatre

Your seat sponsorship will help sustain the Dryden Theatre's aesthetic and structural integrity and help ensure the museum's ability to provide an unparalleled flinging experience. Along with the knowledge that you are supporting the preservation of the theater, as a seat sponsor, you receive special invitations to talks with curators from the Moving Image Department and access to presale tickets for designated special events. Seat sponsorship is a memorable way to mark a birthday, anniversary, or holiday—or simply to show your support for this wonderful theater. Gift sponsorships are acknowledged with a special gift package.

#### Seat Sponsorship Levels:

##### Your Choice Seating | \$1,500

You select your sponsored seat from any of those available.

##### General Seating | \$1,000

A seat will be chosen for you—and there isn't a bad seat in the house!

Sponsorship of a Dryden Theatre seat is fully tax deductible for those paying US income tax. Please note that your donation or seat sponsorship does not imply reserved seating, seat ownership, or free or discounted tickets to future events or screenings.

#### Become a George Eastman Museum Member

Through your annual, tax deductible gift, you will provide essential operating support for the Eastman Museum and Dryden Theatre, while receiving exclusive member benefits such as unlimited free museum admission, member discounts, invitations to members-only events, and more. Membership starts at just \$60 per year.

To join online: [eastman.org/membership](http://eastman.org/membership)

#### Support our Annual Fund

Gifts to our Annual Fund support the museum's overall mission to preserve and collect motion picture and photographic history, and are key to the stability and future success of the George Eastman Museum. Contributions of all sizes are appreciated and tax deductible.

To make your gift online: [eastman.org/donate](http://eastman.org/donate)



### ▲第3回ナイトレート・ピクチャー・ショーの概要

きた“ユニーク・プリント”に擦傷・破損・切断といったダメージを与えないと同時に、映写スタッフと観客の安全を完全に保障するため、前もって可燃物たるナイトレート・フィルムの安全輸送に万全を期し(国ごとに異なる関連法規の調査・遵守や輸送業者との綿密な交渉・調整を含む)、上映の何か月も前に当該フィルムを冬のロチェスターに運び、専門技術者がフィルムの縮率測定(1%以上縮んだプリントは原則的に上映しない)や齧単位の検査を行うといった徹底ぶりに加え、防火シャッター付き専用映写機の保守整備、映写技師の複数配備なども完全に実現した上でのきわめて例外的な上映事業